

四万十市

四万十高等学校 自然環境コース



『身近な問題、疑問が卒論のテーマ』

- 活動時期 → 一年間
- 活動場所 → 主に校内
- 主な活動メンバー  
自然環境コース3年生 18名

【ホームページ】  
<http://www.kochinet.ed.jp/shimanto-h/>

■自然と共鳴し、融和して生きる感性を育てる。

(取り組み内容)

◆普通科 自然環境コース

四万十高校は普通科に自然環境コースを設置し、自然環境系、自然科学系に進む人材育成を目指した環境学習を行っている。校舎のある四万十川流域をフィールドに水質の調査、植物・動物などの自然環境学習に取り組んでいる。また、森・川・海のつながりを学習する研修として、1年生は屋久島研修、2年生は柏島研修、3年生は黒尊研修がある。

【教育の狙い】

自然や環境について正しく理解するとともに、自ら考え、行動できる人材の育成を目指している。  
(※生徒は全国から募集。 定員 40名 )

◆身近な問題、疑問が卒業論文のテーマ

三年生の卒業論文のテーマとして、ゴミ問題、植生、森林調査、水生生物、有機肥料、郷土料理、廃油せっけんなど、それぞれが感じた身近な疑問、問題をとりあげて研究している。

◆成果物

毎年の卒業論文で冊子を作成している。

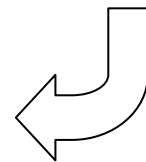
「グリーンカーテン」



1階の職員室の窓の外側



職員室内



日陰効果



毎日の水やり



順調に成長

( (うれしかったお話) )

夏にクーラーがいらなかったり、「涼しい」という声を聞けたりすること。

#### ◆研究事例

【西山 進治くん】

【テーマ】 グリーンカーテン再び

1階の職員室の窓の外側の花壇にゴーヤ、ヘチマの苗を植えて育て、2階まで張ったネットにツルを伸ばし、日影を作って効果を調べる。

苗は5月に10~13株植えて毎日、昼(13:00)夕方(16:00)に水やり、気温の測定。7月には上までツタが伸びる。葉の枚数は1株で1500枚以上。ヘチマよりもゴーヤの方がグリーンカーテンに適している。

【わかったこと】 昼は中の方が、夕方は外の方が涼しい。

【工夫したこと】 水やりは池にたまった雨水(空の池にビニールシートを敷いて溜めた)を利用。

【失敗したこと】 実ったゴーヤを採り忘れたこと。

【芝 憲明くん】

【テーマ】 四万十町のゴミ問題とその費用

プラスチックのリサイクルをインターネット等で調べる。例えば、ペットボトルの蓋800個でワクチンが1個買える。ペットボトル13本で制服のシャツが1枚作れる。驚いた。

いろいろなものが石油から作られるけれど、それをペットボトルに変えていけたらと考えている。



水やりは池にたまった雨水を利用



葉っぱを数える(1株で1500枚)



ゴーヤ収穫

(平成21年8月現在)